

御所市の公共交通に関する住民アンケート調査 実施計画（案）

1. 調査目的

公共交通運行効率化計画の作成にあたって、市内の公共交通について市民の皆さんのニーズ等をお聞きするため、アンケート調査を行ないます。

2. 調査手法

- ①住民アンケート調査
- ②コミュニティバス利用者調査

3. 調査の概要

3-1 住民アンケート調査

項 目	内 容
概 要	御所市の公共交通についての利用の有無等の利用実態を把握するために市内 3,000 世帯を無作為抽出により選び、郵送によるアンケート調査を実施する。
調査時期	平成 30 年 7 月～8 月（配布・回収期間は、2 週間程度を想定）
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査対象	市内 3,000 人（無作為抽出） ※ 1 枚の調査票で 4 名まで記入可能 ※ 中学生以上を対象
想定回収数	900 票（回収率 30%以上）
想定回答者数	1,800 人（1 票あたり平均 2 人回答することを想定。）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 属性 ・ 普段の生活での外出状況 ・ 鉄道に関する意見 ・ 路線バスに関する意見 ・ コミュニティバスに関する意見 ・ 今後の公共交通について 等

3-2 コミュニティバス利用者調査

項 目	内 容
概 要	コミュニティバス利用者を対象として、利用実態を把握するために調査を実施する。
調査時期	3日間程度（平成30年8月）
調査方法	コミュニティバスに乗り込んで直接利用者の聞き取りを行う。
調査対象	コミュニティバス利用者
想定回収数	100票
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・乗車バス停、降車バス停・利用目的・利用頻度・満足度・具体的な改善要望 等

4. アンケート調査項目

4-1 住民アンケート調査

分類	項目	内容(選択肢など)	主な結果の活用	
①属性	居住地	世帯主の住所	地域別、年齢層別にクロス集計の検討	
	各回答者の属性	性別、年齢、職業、自動車運転免許証の有無、自家用車の有無		
②普段の生活での外出	主な目的	通勤、通学、通院、買物、送迎、余暇、手続き 等	住民の移動とコミュニティバスの運行ルートやダイヤとの違いを確認	
	目的地	市内又は市外と具体的な施設名称		
	頻度	ほぼ毎日 ～ 年数回程度		
	移動手段	JR、近鉄、路線バス、コミュニティバス、自動車、バイク 等		
③鉄道(近鉄及びJR)に関する意見	利用の状況	よく利用する～利用しない	鉄道及び路線バスとコミュニティバスとの乗り換えニーズを把握	
	満足度	運行本数、自宅から駅までの距離、料金 等		
④路線バスに関する意見	利用の状況	よく利用する～利用しない		コミュニティバスの利用促進及び見直し検討
	満足度	運行本数、自宅からバス停までの距離、料金、他路線バスへの接続鉄道への接続 等		
⑤コミュニティバスに関する意見	認知度	知っている、知らない	コミュニティバスの利用促進及び見直し検討	
	利用の状況	よく利用する～利用しない		
	利用する理由	利用したことがある方に、利用した理由を聞く		
	利用しない理由	利用したことが無い方に、利用しない理由を聞く		
	満足度	運行本数、自宅からバス停までの距離、料金、運行時間帯、運行日 等		
	最も満足及び最も不満な項目とその理由	各項目の満足及び不満な項目を聞いて、その理由を聞く		
⑥今後の公共交通について	行きたい目的・場所	具体的な施設名称	新たな公共交通の運行形態や運行内容の検討	
	行きたい目的・場所への頻度	ほぼ毎日 ～ 年数回程度		
	行きたい目的・場所への利用時間	6時台～21時台		
	自宅から乗降場までの距離	100m以内～1km		
	乗換の回数	0回～3回以上		
	片道料金	100円程度～500円程度		
	今後の公共交通の利用意向	利用する、利用しない 等		
⑦公共交通に関する自由記述	—	—	—	

4-2 コミュニティバス利用者調査

分類	項目	内容(選択肢など)
①利用実態	乗車・降車した停留所	具体的な停留所名
	本日の目的地	具体的な施設名称
	本日の目的	通勤・通学・通院・買物等
	利用頻度	ほぼ毎日 ～ 年数回程度
	往復の利用	往復利用、行きだけ利用等
	自宅からバス停までの距離	目の前 ～ 10分以上
②満足度	運行本数、料金、鉄道への接続等	五段階の評価(満足～不満)
③今後について	改善要望	自由記述
	今後の利用意向	コミュニティバスの利用の有無
④その他	—	—
⑤属性	—	性別、年齢